
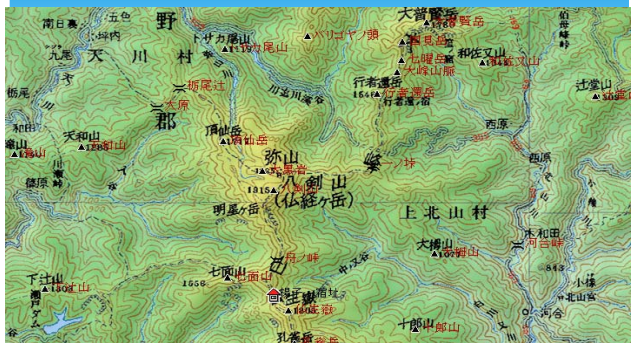



近畿の屋根・大峰山の立ち枯れ  
 しかの食害が原因か？  
 大阪府勤労者山岳連盟 自然保護委員会  
 澤村秋則 高石市綾園4-5-1-507  
 072-264-6138



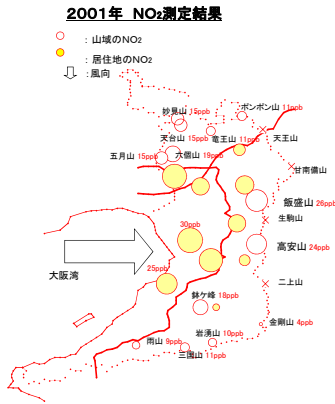
特に、弥山・明星ヶ岳はひどい



京阪神で発生する  
 年間約5万トンのNOxも大いに怪しい  
 アマヤ式カプセルでNO2測定 10年間



2001年 NO<sub>2</sub>測定結果



○ : 山城のNO<sub>2</sub>  
 ● : 居住地のNO<sub>2</sub>  
 ↓ : 風向

なんと！！  
 西風が吹くときは  
 大阪市内と生駒山地の  
 NO<sub>2</sub>濃度は ほぼ同じ

大峰山の気象条件 生駒山とは大違い  
 高所・標高1700m以上では  
 年間を通じて霧の日が多い  
 大峰の樹木には霧がたくさん降り注ぐ  
 霧は高濃度の硝酸ミストを含む

2007年10月 自然保護交流山行



しかし、この無残な立ち枯れ  
しか食害の影響だけとは思えない



そして 3年半経つと、この有り様



弥山付近 標高約1900m



大黒岩付近 標高約1800m



狼平 緑豊か 異常なし 標高約1600m



最後に

このような立ち枯れ風景を見ると

しかだけの影響とは思えないのです